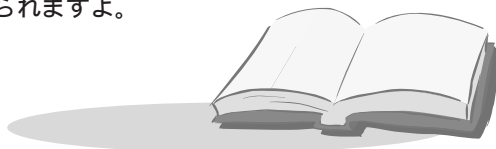




## 私が見た 図書館

ブラジルポルトガル語学科 3年次生  
永井 理和子

図書館という場所を<堅苦しい>というイメージで捉えていませんか？確かに図書館の中では、お喋りも飲食も携帯電話の使用も禁止です。私も図書館で静かに自習する学生の方々を見て、そんなイメージを持っていました。ですが、図書館でアルバイトをしたことで、多くの発見をしました。閲覧室に置いてある雑誌を見たことがありますか？色々なジャンルの和雑誌の他、洋雑誌も充実していて、なかなか読む機会がない洋雑誌や和雑誌は、勉強の合間に読むと良い息抜きにもなります。書庫に入ると、学科別の洋書も多く、自分の専攻語はもちろん、他学科の洋書も珍しかったのでとても興味深く思いました。その他にも、旅行、就職、留学、海外生活に関する本も沢山あるので是非利用してみてください。読んでいると時間を忘れてしまうような本を、きっと見つかりますよ。



ご存じですか？

『世界の言語と  
国際地域研究』



本学で外国語を学ぶ皆さんにとって、その言語の話されている国や地域について知識を得ることは非常に重要な事です。異文化への理解が言語習得の促進に大きな役割を果たすからです。

今回紹介するデータベースは本学図書館で作成している「世界の言語と国際地域研究」です。このデータベースでは世界の国や地域ごとにページを設け、言語や文化、歴史といったテーマ別に関連した日本語図書を検索ボタンをクリックするだけで図書情報を得ることができるものになっています。

現在6つの大陸に区分された61の国と地域の

ページを公開しており、ページごとに多岐にわたる検索項目を設定していますので、調べたい国や地域についての資料を幅広く検索することができます。また、日本語で公開されている大使館や観光局などのWebサイトへのリンクを設けていますので、図書だけでは得られないリアルタイムの情報などが得られ、その国への関心をさらに高められます。

外国語を学んでおられる皆さんには、それぞれ関心のある国や地域があることと思います。またそれらの国を訪れてみたいという願望も強いことと思います。ですが、やはりその国、地域への認識と理解をしっかりと情報収集をしておく必要があります。このデータベースを活用して資料を収集し、それらへの造詣を深めていってください。

(機械化推進委員会委員長 宮杉 浩)